

師走の行事 第1弾 お餅つき

今日も寒いと言われていましたが、何故かあったかく感じるのは、スペイン戦にサッカーが勝ったから？・・・いえいえそれもあるかもしれませんが、今日はお餅つき大会です。2年間見送っていた“お餅つき”ですが、今年は、出来るだけ行事を行うということで日本の文化“お正月”“お餅つき”について、子ども達と食育（お餅つき）を体験したいと思います。お餅ができるまでの工程（お米の出来るまで・もち米を前日に洗う・蒸す・つく）を話しました。そして年長児には、お米が出来るまでに八十八回人の手がかかり“米”という字になっていることや一粒ひとつぶを大切に思っていて感謝を込めてご飯を頂きましょう。と話しました。とても興味深く聴いていました。蒸しあがったお米を見て、「いい匂い〜！」と「次はどうなるの？」とつき始めると「よいしょ！よいしょ！」の掛け声に力が入りました。

「園長先生、頑張っ！」の熱い声援に応え私もしっかりつきました。「明日起きられるかな〜？」と心で思いながら一番楽しませていただきました。有難う！クラスごとにお餅つきを経験し、つくたてのお餅を給食の時間に頂きました。

「柔らかい〜」「美味しい〜！」「いっぱい食べられる〜」と自分たちでついたお餅は格別ようです。大満足の子も達でした。

時代背景や現在の状況で中々お餅つきを実施するのは難しいところでしたが、みなさんのご協力が無事できました。準備をして頂いた先生方、有難うございました。

日本には昔から伝わる伝統文化がたくさんあります。失われつつある事柄も少しでも触れられる機会をつくり伝え続けていきたいと思っています。

みなさん、まだまだ続くよ！お楽しみに〜。本日も有難うございました。

